とかち新聞
主筆 松山明
(発行所) 北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話1351番
本紙購読料　一部25円　一カ月75円　一カ年前納750円

行政報告をめぐつて……

足寄町議会　未処理の問題を論議

定例第一回の足寄町議会は三月十二日午前十時二分に開会、会期を二十三日までの十二日間（内十六、十七、十八、二十日は休会）として、この日はまず各委員会の付託事項の報告とこれにたいする質疑がありました。

宮口総務委員長　二月二十六日から三日二日まで、滝川、ク知安、伊達、士別を視察したが、事務改善についてはなかなかふみきれないようだが本町はさらに検討すべきで、消防関係では滝川市でも長い間の団と本部、署併置に問題が多く科学的消防行政のために全力をつくすべきで、役場の支所、出張所はむしろ廃止すべきで、公営企業にたいして一般会計からのもち出しは充分考慮すべきである

神本議員　消防関係で一考を要する点とはなにか

宮口委員長　消防長の非常勤は不合理で他のどこにもない、即刻改善すべきだ

斉藤副議長　要は消火よりも予防が大切で団の任務行政指導の目的で、その最高責任者の不在は考えられない、消防長の非常勤は行政の責任上あり得ない、団は予防行政が主体で本部の車が先行する、勇気と決断力をもつ人が必要である

鳴海文教厚生委員長　二月二十六日から三月二日まで五名で新冠、白老、木古内、松前、比布、新得などで学校統合、し尿処理、給食、病院関係を調査した、文書で報告したとおりだが木古内では病院の滞納未収金はない、医師の獲得は院長がやり院長、事務長、婦長が一体となつて経営にあたつている、町は一千万円もあるので思い切つて措置すべきである

斉藤白糠線特別委員長　中間報告をする、委員会を三回開催し別の用地処理委員会とも協議し二十六万六千円を要求するとのことで、住民の意向はどうか、足寄部落へ同行したが鉄道側は十五万円程度とのことで十八万円と折衝した、道内で用地買収はアシ別線で水田が二十六万円、畑がA十二万円、B十万円、C七万円D五万円とのことで、足寄部落の価格は十八万円でなつとくしたので住民の予想よりも上まわつて調印となつた

大滝議長　四十二年度の決算認定を議題とする

宮口総務委員長　一般会計は認定としたが、財産管理上手続き未処理のものを促進する、駐在員制度を再考検討する、長期の臨時雇いは好ましくない、事務改善は一部されたが総合制に欠けるので創意工夫に努力する、誤払があるので絶無を期する、車輌日報による配車の目的が明確でない、町道の移管事務が遅延している、決算の誤記が多いので意見を付したい

鳴海文教委員長　国保、事業会計とも認定としたが未収金が多く速やかに処理することを意見とする

吉田産業委員長　林野会計を認定とした

矢野建設委員長　水道、都市計画会計を認定としたが、都市計画に疑問が残るので正常に戻すよう努力すべきである

など報告どおりに決定して理事者側の行政報告にうつりました。

公用廃止地、道に返せ　遠山議員

小林町長　都市計画にともなう公用廃止地の処理については過去数十年来耕作してきた沿革からその事実を尊重して町将来の展望に立つて関係者の協力をうけ好転の方向にあり現在専業農家十一戸のうち一、二戸の諒解は得ていないが、一日も早く全面妥結をはかり都市計画を実施したい、役場庁舎敷地の交換問題は合併条件の交換で処理したいと本年に入り関係者の代理人に文書で申し入れた、白糠線鉄道について土地所有者、用地処理委員会の方々の協力を得て十三戸が調印し大きく事業の第一歩をふみ出した、北十勝線の問題は国の財政硬直化と路線の関係で新得と足寄に問題はないが中の町村に県念がある、国道の改良は市街から中矢までの舗装、旭町の舗装、中足寄の路線変更、ラワン高台の変更改良、愛冠一西一線間の路線改良、伏古丹の改良が予定されている、魚菜市場の問題は帯広市場の分場に方向ずけられたので早期に完成したい、三町のし尿処理場について六月に提案する、山村振興事業は四カ年で土地改良、無水地帯の解消、農事放送施設、生活改善センターが骨子となる、上水道拡張工事は四十三年度で完了する

久保田議員　公用廃止地を具体的に説明願いたい

小泉開発課長　昨年十一月に基本構想を定め川成地は等量交換にし、第一工区は香川、大井地区を除く公用廃止地、第二工区は一般地とし、道路計画は雪印と神社の幹線を完全にしその他の区画道路は素堀り側溝と用地確保にしたい、処分価格は専業農家については長い間の実績から近傍類似の農地価格として減歩を三五％で事業費は一億一千万円である

遠山議員　過去の実績で農地価格で払い下げては当初の下付目的とほど遠くなる、どう調整するか、これを道に返還して改めて農地価格で売渡すことが正しい道のミスのシワヨセが町へくることになる、庁舎敷地の問題はもう少し積極的に高橋氏に交渉する姿勢が必要ではないか

小林町長　急速に宅地化の判断は微妙で区画整理事業でいつぺんにうまるとは考えられない、いつそ返還してその後の措置もあるがそれならとつくにしていたら苦で、返還の事態はとりたくない、関係者にも重大な影響をもつので双方の幸せのため軽々にすべきでなく円満に妥結したい、庁舎の問題はなんとか解決してゆきたい

阿部議員　し尿処理で過般視察した静内の場合は共同処理は絶対やるべきものでないとのことだつたが、充分に研究したか

小林町長　この問題は本別保健所の指導ですすめており、いずれも組合立が現況であり、静内はわからないので研究したい

香川議員　白糠線の用地買収は中足寄地区はどうするのか、北十勝線は腰折れのようだが五カ町村が乱れたのか

小泉開発課長　中足寄は一応中断されたが四月に入り足寄方式で入りたい、北十勝線は地元の態勢はくずれていない、中矢から芽登発電所へボーリングが実施されており路線測量となる

小林町長　五カ町村の足並みが乱れているのではなく路線を鉄道公団に任せられないとの意見がある

農地売渡しと都市計画　大久保議員、はむじゆん

大久保議員　公用廃止地の処分の基本的な考え方として近傍類似の農地価格は適当でない、すぐ人家が密集するところを農地価格は不適当で短兵急にやるべきでなく都市計画にむじゆんする、川成地の等価交換というが寄附することになつているが廃止地から交換するのか

小泉開発課長　三十五年いらいすすまず道の見解も変つており統一見解として現況は農地であるとして算定した、川成地は大正八年いらい犠牲となつているので公用廃止処理以前の問題として考えている

矢野議員　紛争時点の農地価格で算定するのか、前の理事者はその時点とした

小泉開発課長　現時点の現況による

大久保議員　農地法を摘用するなら都市計画は間違いで白紙に戻すべきで基本的に誤りであり当然返還を求めるべきである、川成地を犠牲というが全国にも交換をした前例がない、解決のための方便である

小泉開発課長　道の統一見解で下付当時の指導方針が現在変つてきている、川成地の問題は全国に例がないというが近くにあれば等価交換したいといつている

小林町長　道の統一見解は農地法の対象地だが摘用はしないとのことで下付の基本線はずれないがどこまでも農業をやる方とはまだ問題は残つている

伊藤議員　農地で処分すれば都市計画が行なわれる可能性がない、農地価格で売ればその収入でやれるか専業農家は一反いくらか、不足をきたせば一般財源のもち出しとなる、シワヨセを町民に残すなら一考を要するのでないか

小泉開発課長　財源的関係は総体事業費一億一千万円のうち第一工区（公用廃止地）の四千五百万円は処分価格と減歩で調整できるが第二工区（一般市街地）は財源不足となる、専業農家への価格は二万四千円から九万円だが減歩があるので四〇％ほど高くなる

伊藤議員　収入減はどうなるか、鉄道でも十五万円から十八万円ときくが、町の中心から二㌔以内で最高が九万円では安すぎる、計算の基礎をききたい

小泉開発課長　事業の財源不足は推計二千万円と考える、白糠線の方は反十一万円で分断料や残地補償などで十五万円になつた、公用廃止地は地元農業委員会と協議し道の農地開拓部の指導で設定した

大野議員　国道の改良工事が下足寄で一部されていない、事情をききたい、足寄橋の跨線橋の見通しがあるか、二四一号線を駅裏の西区へ切り替えてほしいとの声があるが開発局へはたらきかけたか

小泉開発課長　下足寄の立体交差は三人の関係者と話し合いをすすめ解決したい、下愛冠の立体交差は歩道橋とも四十四年度にお願いしている、西区の宇回道路を陳情しているが開発では市街を通るのはどうかとのことだがさらに努力したい

斉藤副議長　主観で答弁している、努力の上の見通しに欠けている、関係機関との話し合いの中で明確に答弁してほしい

我妻議員　堤防敷地の問題は一番の根本は地籍を調査する必要がある、西区の佐野川も堤防用地があるのかはかつて頂きたい

大滝議長　町長の行政報告の質疑は打切る

このあと教育長の行政報告があり、四十二年度各会計の補正予算を審議決定して午後四時に散会しました。

刈払機　新鋭機！（使いやすさ）抜群
刈払機の王座　イリノ式　日立製　共立製
○1、5HPで7KG台の軽さです
○身体に受ける振動が少なく疲れません
○ダイヤフラム気化器を採用しています
から使用姿勢が広範囲です
○人間工学をとり入れ扱い易く設計
（用途）
○稲麦の刈取り
○山林の地拵え下刈り
○果樹園の下刈り
○道路の草刈り
○牧草刈り
造林用　島田鍬と鎌　大量入荷！
有限会社　鈴木鋸刃物店　足寄町大通り　電話307番

家具と建材のサトウ
あなたの快的で豊かな住いと暮しのためにご用命をお待ちいたします！
募集　家具、建具製造職人及び見習
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話221番

○…十九日の参議院予算委員会で社会党の羽生三七氏の質問に答えて佐藤首相は「沖縄が核つき返還の場合、は国民に信を問うこともあり得る」と言明しました。

○…沖縄に核基地のあることは天下周知の事実で、そのために政府、自民党が核をもち込まない、つくらない、使わないの非核宣言の国会決議に反対しているのです。

○…それは日本がアメリカの核の傘に入つて安全を保つてもらつているからだとしており、これが自民党の外交、防衛政策の基本だとしています。

○…アメリカの武力に頼つて国の安全をはかつてゆくという南ベトナムが現在いつたいどんな状態におかれていましようか、あの猫のヒタイのような地区に世界最強の武力をもつてしてもどうにもならない事実をみせつけられています。

○…これはアメリカに守つてもらつているのではなくてベトナム人民が殺され国土が破かいされているだけ

誰に守つてもらうのか

ことが是か非か、このことをめぐつて一月いらいの国会で論議がつづけられています。

○…そのことのギリギリ結着をつけるために、二、三年後の沖縄返還のメドが核つきであれば国民の信を問う総選挙であつてほしいものです。

○…アメリカが守つているという南ベトナムが現在いつたいどんな状態におかれていましようか、あの猫のヒタイのような地区に世界最強の武力をもつてしてもどうにもならない事実をみせつけられています。

○…これはアメリカに守つてもらつているのではなくてベトナム人民が殺され国土が破かいされているだけ